



横田基地もオスプレイもノー

東京・福生で集会・行進

P.F.A.S汚染原因究明を

米軍横田基地を抱える東京都福生(ふつう)市で26日、「オスプレイはいらない」「P.F.A.S(飛機フッ素化物)汚染の原因究明を」と訴える集会がスピーチ行進が行われ、650人(主催者発表)が参加しました。主催は労働組合や平和団体などでつくる実行委員会。

「横田基地の撤去を求める西久屋の会」の西久屋(にしきや)忠事(ただむね)と主催者あらさじが講演しました。

東京地方労働組合評議会の矢吹義則議長が「国際社会で連帯し、ガサの悲惨な戦争を止めよう。横田基地周辺には多くの学校、病院、保育園があり、住民は欠陥オスプレイの飛行で不安な生活を送っている。『横田基地もオスプレイもいらない』の声を広げ、平和な日本をつくりたい」と主催者あらさじが講演しました。

「横田基地の撤去を求める西久屋の会」の西久屋忠事(にしきやただむね)が報告。横田氏は「米軍は中国をはじめ、横田基地を機械強化し、戦闘機も飛来させてくる。P.F.A.S汚

染も広がっており、基地墳墓が立っている。基地墳墓は「日本の東洋化」に反対する運動が各地でめぐらしくなった。しかし、軍事同盟拡大と

強、軍拡を進める岸田政権を退陣に追い込むためめぐらしくなった」と訴えました。

た。

日本共産党の宮本徹衆院議員・東京比例候補、吉澤よし子参院議員、曾根はじめ都議、社民党都連の青山秀雄代表が紹介されました。宮本氏は「なぜ停戦を求めて、国民の暮らしにまちまち添わず大軍拡を進める岸田政権を退陣に追い込む」とあいさつしました。